令和２年度　研究構想図

武蔵野市立第二小学校

社会的背景	学校教育目標	教師の願い	児童の実態
・予測不能な社会の変化 ・未知の課題、答えのない課題にも適応できる力の育成 ・新学習指導要領施行	○やさしく ◎かしこく ○たくましく	・国語科の教材を通して何を、どのように指導すべきかを知り、授業力を向上させたい。	・自らの考えをもつこと、それらを表現することに課題がある。 ・語彙が豊かではない。

【研究主題】　論理的に考え、表現する児童の育成

～説明的文章の指導を通して～

課題や問題に対し、根拠や理由をもって考えたり、筋道を立てて表現したりすること。

【研究仮説】

３つの手立てを取り入れることによって論理的に考え、表現する児童を育てることができるであろう。

３つの手立て：①教材の論理や価値を捉える教材研究　②考えさせる授業の実践　③言語能力の育成

【目指す児童像】

	低学年	中学年	高学年
論理的に考える児童	課題や問題に対し、自分の考えをもつことができる児童	課題や問題に対し、根拠や理由をもち考えることができる児童	課題や問題に対し、根拠や理由をもち、筋道を立てて考えることができる児童
表現する児童	言葉の響きを楽しみ、すすんで表現できる児童	文章全体の構成や内容を意識しながら表現できる児童	自分の思いや考えが聞き手に伝わるように表現できる児童

【研究内容】

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業

教材の論理・価値を捉える教材研究

- 読みの観点をもとした教材分析、教材研究
- 教材の論理、価値を明らかにする教材分析、教材研究
- 指導事項の明確化

考えさせる授業の実践

- 「読みの三様態」を意識した単元計画の工夫
  - 第一段階…叙述を読む
  - 第二段階…叙述を整理しながら読む
  - ◎第三段階…自分の考えをもちながら読む
- 発問の工夫
  - すすんで考えたくなる発問
  - 思考が深まる発問
  - 多様な考えをもてる発問

思考力、表現力の育成

言語能力の育成

- ことばの学習タイム
- 校内言語環境整備
- 句会の開催
- 音読活動の工夫
- 音読詩集の活用
- 学校図書館の活用